

来年度の入学生はどんな学生か －高等学校教育課程の実施状況調査より－

山村 滋（大学入試センター）

1. はじめに

報告の目的

来春、2003 年度実施の新教育課程で学んだ高校生が大学に入学
彼らは、どのような教育課程で学んでいるか（学習量、学習科目、選択傾向）

背景

教育政策

個性尊重

選択の奨励

学校週 5 日制

・学力低下の危惧

大学入試

多様化（軽量化）

5 教科 7 科目 国大協、2004 年度より

高校における教育課程の編成に影響を及ぼす諸要因

学習指導要領、大学入試、生徒の学力・関心、地域のニーズ、物的・人的資源 等

2. 分析方法

1) データ

①2003 年調査

「全日制普通科高校における新しい教育課程の編成に関する調査」（2003 年 1 月実施）

・母集団：全日制普通科設置校（分校を含む）の 50 パーセント

・回収率：63.0%（1248/1981）

②1997 年調査

「教育課程表調査」（1997 年 5 月実施）

・母集団：全国の高校の 10 パーセント

・回収率 86.8%

のうち全日制普通科（併設校を含む）：331 校

③1999 年調査

「学生調査」（1999 年 5 月実施）

1999 年度に大学入試センター試験を利用した大学の 951 学部からランダムに抽出した 400 学部の 2 年生、各 100 人を対象とした、高校での履修状況・受験科目等の調査

2) 分析の視点

高校生の学習量と学習科目、選択傾向に関して

高校の多様性

・文系／理系

・大学進学率

に着目

3. 学習量（履修単位数）と学習科目（開設科目）

1) 履修単位数

①総履修単位数

旧課程下と新課程下の比較

②6教科の履修単位数

国語・地歴・公民・数学・理科・英語

必修／選択別の単位数（中央値）

①総履修単位数（教科・科目に関して）

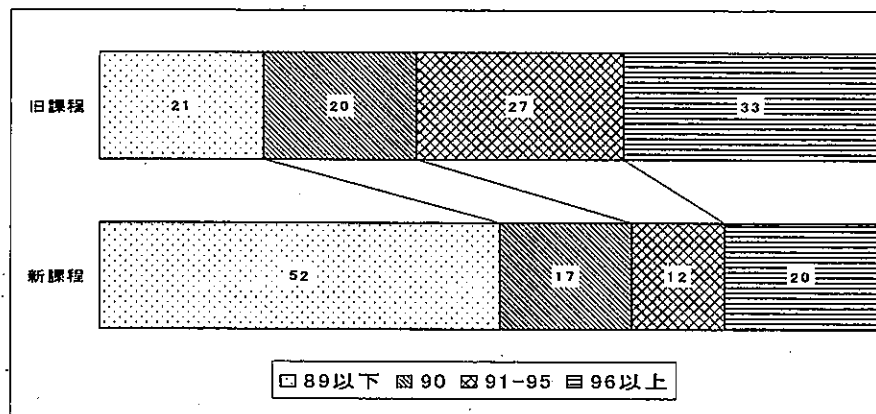


図1 教科・科目の総履修単位数の変化

②6教科の履修単位数

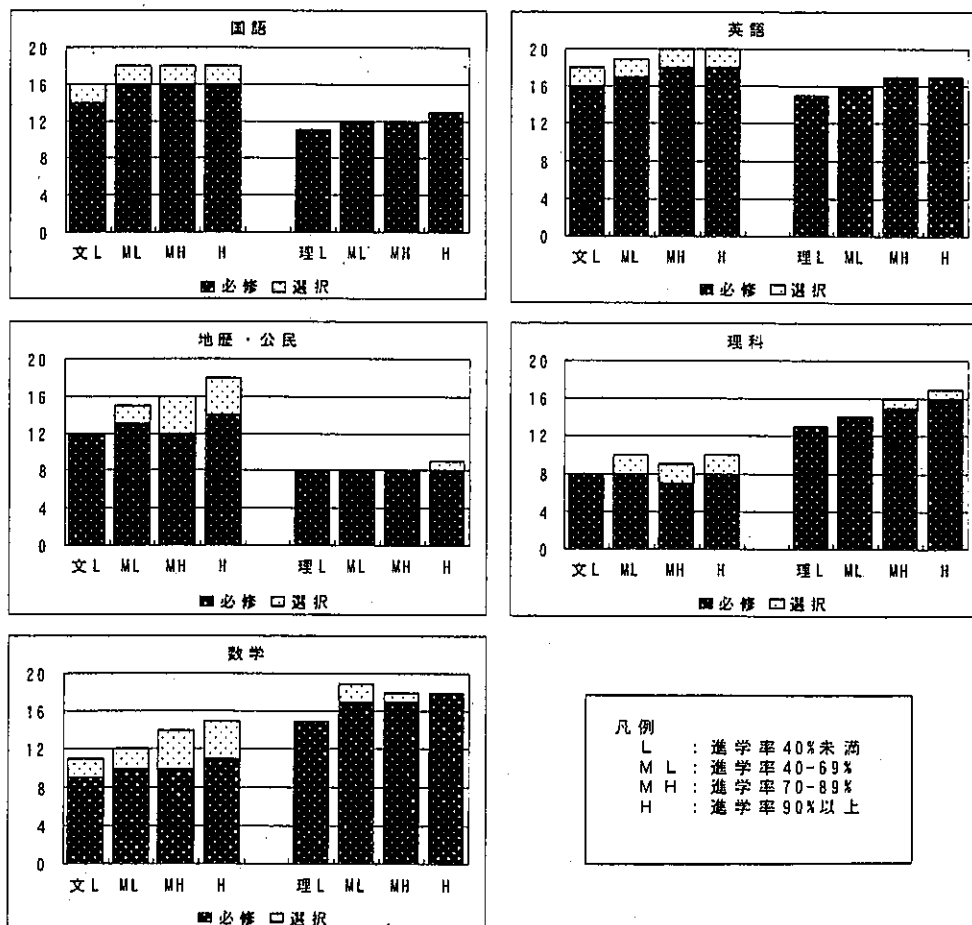


図2 6教科の履修単位数

学習量に関する特徴

- ・学習量の減少
- ・文理のちがい：大
- ・進学率によるちがい： 文系：地歴・公民、数学
理系：理科

2) 開設科目（資料参照）

学習指導要領に記載の 39 科目

- a. 全体的傾向
- b. 文理によるちがい
- c. 進学率によるちがい

a. 全体的傾向

開設率が高い（概ね 9 割以上）

国語総合、現代文

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A、生物Ⅰ

英語Ⅰ、英語Ⅱ、オーラル・コミュニケーションⅠ、リーディング

開設率が低い（2 割以下）

国語表現Ⅱ

数学基礎、地学Ⅱ

オーラル・コミュニケーションⅡ

b. 文理によるちがい

文系で高い

古典、古典講読

世界史 B、日本史 B、政治・経済

理系で高い

数学Ⅲ、数学 C、数学 B、物理Ⅰ、物理Ⅱ、化学Ⅱ、生物Ⅱ

c. 進学率によるちがい

進学率の高い学校で開設率が高い

古典、古典講読、地理 B、日本史 B、世界史 B、倫理

数学 B、数学 C、理科総合 A、物理Ⅱ、化学Ⅱ、生物Ⅱ

リーディング、ライティング

進学率の低い学校で開設率が高い

国語表現Ⅰ、現代社会

理科基礎、理科総合 B

* 各教科内での選択制の実施状況（図 3）

- ・教科内選択は地歴と理科が中心 → 地歴と理科においては、開設されていても生徒の選択により履修されない科目が多い

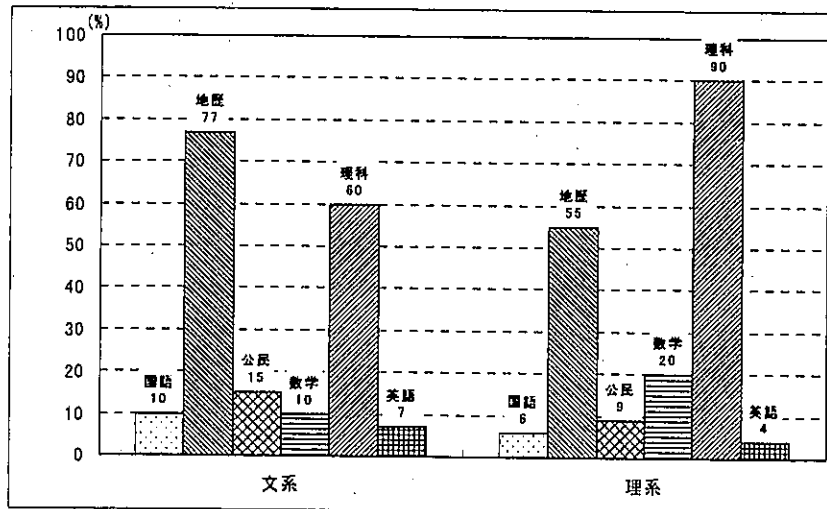


図3 教科内選択制の実施状況

4. 高校生の履修状況

大学入学者の履修状況

(平成元年告示、平成6年度から実施の学習指導要領の下でのもの)

地歴・公民、理科について

①生徒の履修「科目」数

②選択傾向

①生徒の履修「科目」数

表1 文系コース・類型における理科の履修「科目」数

文系 理科		「科目」数					合計%(N)
進学率		0	1	2	3	4	
0.0-24.9%		0.5	4.5	65.5	21.8	7.7	100.0(556)
25.0-49.9%		0.4	3.9	69.5	21.9	4.4	100.0(2023)
50.0-74.9%		0.4	4.4	72.9	18.5	3.9	100.0(3718)
75.0-100.0%		0.1	5.2	64.4	24.1	6.2	100.0(5609)
全体		0.3	4.7	68.0	21.9	5.2	100.0(11886)

総合理科履修者を除いて集計

表2 理系コース・類型における地歴の履修「科目」数

理系 地歴		「科目」数				合計%(N)
進学率		0	1	2	3	
0.0-24.9%		0.0	15.3	74.3	10.5	100.0(268)
25.0-49.9%		0.0	19.0	70.5	10.6	100.0(1137)
50.0-74.9%		0.0	25.8	67.6	6.6	100.0(2552)
75.0-100.0%		0.0	25.1	64.0	10.9	100.0(5998)
全体		0.0	24.4	65.9	9.8	100.0(9955)

1「科目」以下の履修者の存在！

②選択傾向

表3 教育課程上は2「科目」もしくは3「科目」
履修可能な場合の生徒の選択傾向（地歴）

地歴	「科目」数	文系	理系
	1	14.0	14.1
	2	71.2	62.6
	3	14.9	23.2
	合計%	100.0	100.0
	人数	229	99

履修可能でも選択しない生徒の存在！

5. おわりに

高校の教育課程

- ・ 諸条件により限られた授業時間数のなかでの苦渋の編成という側面
- ・ 効率的な受験 ← 大学入試の影響

大学への示唆

高校の履修実態を踏まえた上での入試科目・選抜方法の設定
アドミッションポリシーに具体的に求める学力を示す

入試で課す科目（数）には限界

入学者の履修実態を踏まえた上で、大学のカリキュラムに工夫を

教育制度の設計

高校と大学の接続

大学教育を受けるために必要な能力・学力
高校までに身につけるべき能力・学力
この2つをどう繋ぐか（選抜制度、入学制度）

資料

表4 文理・進学率別にみた科目の開設率

	標準	文系				理系			
		L	ML	MH	H	L	ML	MH	H
国語表現Ⅰ	2	54	36	25	13	43	16	11	6
国語表現Ⅱ	2	18	16	12	10	9	6	5	5
国語総合	4	98	96	96	98	98	96	94	98
現代文	4	100	99	99	100	100	97	97	95
古典	4	85	97	98	99	50	71	77	84
古典講読	2	39	40	55	57	18	19	16	20
世界史A	2	47	56	67	60	60	73	77	77
世界史B	4	74	91	97	98	46	44	52	55
日本史A	2	29	40	59	42	43	40	48	47
日本史B	4	89	98	98	99	41	47	56	58
地理A	2	44	35	44	29	60	40	53	46
地理B	4	52	68	69	70	33	56	64	71
現代社会	2	91	78	78	75	94	82	81	74
倫理	2	30	42	48	51	17	28	30	41
政治・経済	2	71	70	70	68	34	45	44	50
数学基礎	2	8	5	4	2	8	2	1	1
数学Ⅰ	3	99	97	96	98	100	97	96	99
数学Ⅱ	4	91	91	91	96	99	97	97	98
数学Ⅲ	3	5	3	3	14	92	93	92	96
数学A	2	85	92	94	98	91	93	93	98
数学B	2	51	65	74	89	90	95	96	97
数学C	2	11	3	4	14	65	88	91	95
理科基礎	2	32	20	10	13	29	18	7	13
理科総合A	2	58	72	78	67	46	70	79	65
理科総合B	2	51	31	33	40	53	29	27	33
物理Ⅰ	3	42	33	24	34	92	95	94	97
物理Ⅱ	3	9	4	6	12	74	93	94	97
化学Ⅰ	3	73	75	78	81	97	97	97	97
化学Ⅱ	3	14	16	25	24	86	95	97	97
生物Ⅰ	3	87	93	90	90	93	93	94	94
生物Ⅱ	3	22	31	32	25	73	89	94	91
地学Ⅰ	3	32	31	37	39	24	22	23	25
地学Ⅱ	3	4	5	17	11	8	14	19	15
英語Ⅰ	3	98	96	96	99	98	97	95	99
英語Ⅱ	4	98	98	96	97	97	97	95	97
O. C. Ⅰ	2	85	90	88	89	82	87	86	88
O. C. Ⅱ	4	12	14	18	16	7	7	6	9
リーディング	4	87	94	96	97	83	92	94	97
ライティング	4	75	87	97	97	65	86	94	97
類型数		131	269	366	258	96	225	317	236

標準:標準単位数

大学進学率

L: 40%未満

ML: 40~69%

MH: 70~89%

H: 90%以上